

としょかん だより

2026.7 No.221



不動技研ながさき市立図書館

〒850-0032 長崎県長崎市興善町1-1

TEL 095-829-4946 FAX 095-829-4948

ホームページ

<https://lib.city.nagasaki.nagasaki.jp/>

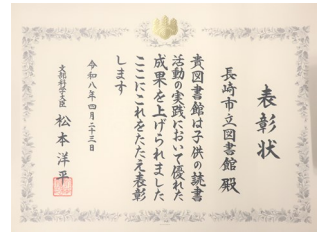


ホームページ

Topic

■市立図書館が表彰を受けました

子どもが読書活動を行う意欲を高める活動において、優れた実践を行っている図書館として、令和8年度「子供の読書活動優秀実践図書館文部科学大臣表彰」を受けました。



Information

図書展示

1階特集展示 海の本 (7/2~7/30)

特別展示 こわいはなし いかがですか(~7/30)

特別展示 「れきぶん×としょかん ダイナミックで華麗!

「南蛮屏風」を知る・つくるワークショップ」連動展示 (7/22~)

特別展示 「トークイベント「体でわかりたい」

『朽ちて死ぬ自由』村瀬孝生×『鶏まみれ』繁延あづさW刊行記念」連動展示(7/8~)

2階特集展示 情報の海を泳ぐ(~7/19)

考えよう 平和について(7/22~)

特別展示 長崎を描いた作品~コミック編~

YA特集展示 読書感想文におすすめの本

投稿展示 うろ覚えスケッチ

児童特集展示 調べる学習にちょうせん!

ミニ展示 おばけやしきへようこそ!おばけ・妖怪のはなし

特別展示 レオ・レオーニとあそぼう!

長崎県美術館企画展「レオ・レオーニと仲間たち」連動展示

教科書展示会 (~7/15)

2階参考図書の棚にて令和9年度
使用の教科書(見本)を展示します

イベント

トークイベント 体でわかりたい

『朽ちて死ぬ自由』村瀬孝生×『鶏まみれ』繁延あづさ
W刊行記念

長年介護に従事してきた村瀬孝生さんと
命のものがたりを撮り続ける長崎在住の
写真家・繁延あづささん、おふたりの新刊
出版を記念したトークイベントを開催します。
ここでしか聞けない対談を、ぜひ。



日時: 8月8日(土)
14:00~15:30(13:30開場)

会場: 多目的ホール
申込: メールまたは1階カウンター
定員: 80名(先着順)

要申込

被爆81年ナガサキ原爆写真展

期間: 7月22日(水)~8月3日(月)
場所: クロスロード
時間: 9:30~20:00
(開館時間中は常時開催)

申込不要

長崎地方気象台×不動技研ながさき市立図書館

お天気フェア2026

図書館で発見! 天気の不しぎ

気象や天気のしくみについて、体験しながら楽しく
学べるイベントです。

日時: 8月1日(土)
11:00~15:00
※当日の天候によっては開催中止となる
ことがあります

会場: 多目的ホール

申込不要

開館状況やイベントの詳細・開催状況は、図書館のホームページ・SNS・館内ポスターをご確認ください。
としょかんだよりの最新号・バックナンバーは図書館ホームページからもご覧いただけます。

BOOKS：巡る

巡るものを知る、 巡ることで知る。



生き物にとって死とはなにか

「命のバトン」のつなぎ方

稲垣 栄洋/著
三笠書房
B460.4イ(1階文庫)

命

雑草、カマキリ、野うさぎ、人間など、35の生き物たちを「どうせ死ぬのになぜ生きるのだろうか」という観点から見つめる。ときに残酷な自然界で、死から生へ命のバトンをつないでいく物語。



世界のお弁当とソトごはん

岡根谷 実里/著
三オブックス
383.8オ(2階フロア)

食

ところ変わればお弁当も変わる!? 世界の台所探検家である著者が、各地を巡りその土地の文化とお弁当事情を豊富なカラー写真を交えながらレポート。レストランの食事とはひと味違う、生活の息遣いが感じられるお弁当の旅へ、いざ!



日本の渡り鳥観察ガイド

矢崎 理之/ほか著
文一総合出版
488.1ニ(2階フロア)

鳥

大空を自らの翼で羽ばたいて移動する渡り鳥。日本周辺の主要な渡りルートや飛来時期、鳥が好む環境など、渡り鳥に出会うために必要な知識や観察のノウハウを紹介する。日本各地の観察スポットでは長崎県も掲載。

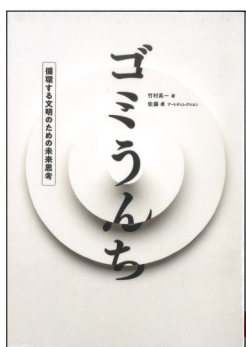


戦下の歌舞伎巡業記 橋の音は止まず

岡崎 成美/著
河出書房新社
H774.2オ(1階趣味娯楽)

芸

戦前戦後の歌舞伎一座の巡業を、ある狂言作家が記していた。戦時の歌舞伎巡業が人々へどのように受け入れられたのか。記録を読み解き、激動の時代に舞台へのぞんだ役者と裏方の覚悟を明らかにする。

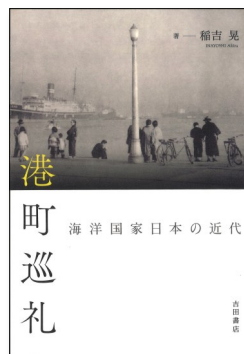


ゴミうんち 循環する文明のための未来思考

竹村 眞一/著
佐藤 卓/アートディレクション
グラフィック社
P518.5タ(2階環境)

資

ゴミうんちも、資源として循環されていく自然界。かつて日本でも人糞は貴重な肥料として活用されていた。また、割れてしまった器を捨てずに「金継ぎ」という技法でよみがえらせる文化もある。自然界と人類の歴史から「ゴミうんち問題」に取り組んでいくヒントを得る1冊。



港町巡礼 海洋国家日本の近代

稲吉 晃/著
吉田書店
N210.6イ(2階地域)

港

飛行機が交通手段として一般的になる二十世紀より前、島国である日本と海外との窓口は「港町」であった。本書は、近代の交通革命、政治経済にも触れながら15の港町をとりあげ解説。第九章では「出島」以後の長崎に焦点を当て、その地理的特性と役割について分析する。

公式SNS
イベント情報
などを発信中♪



X



LINE



Instagram

本や雑誌を
無料で読めます♪



電子図書館